

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 平成 28 年 11 月 28 日 (20:00~21:00)
② 平成 28 年 12 月 1 日 (13:30~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー ① 谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
② 谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	人	人	12 人

前回の改善計画
ご利用される中で、得た情報を職員間で共有していく。情報共有を徹底させるために、申し送り方法を工夫することとする。現在使用している「申し送りノート」に加えて、簡易な様式に前日の出来事を夜勤者が記し、業務日誌と共に回覧する方法を口頭での申し送りに加えて、情報共有を徹底する。

前回の改善計画に対する取組み結果
日勤者から夜勤者へ、夜勤者から日勤者へ引継ぎするための様式を作成し、情報共有する仕組みを構築した。多岐に分かれて出勤するシフトにも対応しており、一定の評価ができる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		9	3		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	8	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	3		12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
前年度評価で浮き彫りになった情報共有に関して、改善計画に基づき対応・活用することで、以前より全職員の情報共有に対する意識が上がり、共通理解が得られていると思われる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様に関してはある程度情報共有できていても、家族様から得られる情報については、不足しているように感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
家族様への情報収集が不十分であり、情報共有ツール (現在は連絡ノートを使用) が有効活用できていない。新しく様式を作成し、情報収集を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20:00~21:00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	6 人	5 人	人	12 人

前回の改善計画	各職員が利用者様とかかわる中で得た情報を記載し、ケアマネに伝達できるよう、記録用紙を作成する。その情報をもとにケアプランの見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録用紙を用いることで、介護職員がかかわりの中から得た情報をケアプランに反映する仕組みを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	3		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	4		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	3		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の記録の用紙にケアプランの項目を記載することで、意識してケアを実施し、記録に残せるようにしている。月に 1 回開催しているケア会議で利用者様の状況を共有している。また、新たに記録用紙を作成し、ケアプランの見直し時期に合わせて、意見収集を行い、ケアプランに反映できるようにしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 全員の利用者に関しては行えておらず、書面での意見収集もケアプランの更新時期のみであり、他にもそのような機会がもっとあるとよい。 空き時間のレクリエーション等関わりが不十分であると感じる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 更新時期に合わせて、すべての利用者に対して、情報収集を実施する。 空き時間に対するレクリエーションの充実を図る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20:00~21:00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13:30~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	10 人	1 人	人	14 人

前回の改善計画	情報共有が徹底できていないことに課題がある。初期支援 (はじめのかかわり) で挙げた対応で、情報共有を徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報共有用紙を新しく作成し、情報共有しやすい仕組みができ、効果があったように思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		5	7		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	4		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 情報共有用紙を使用し情報を共有することで、個々の利用者様の状況の変化に合わせて、日常生活上の支援が行えているように感じる。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 体調不良、できなくなった動作などマイナスの側面に関しては情報が集まっても、その方のプラスの側面 (強み) に関しては情報が集まりにくい。 以前の暮らし方についての情報が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 日々の支援の中でマイナスの側面だけでなく、プラスの側面に焦点を当てて、情報収集・記録を行い、ケアを実施できるようにする。 介護が必要になる以前の生活について、ご本人・家族様などから情報収集する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20:00~21:00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13:30~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	8 人	1 人	12 人

前回の改善計画	地域の広報誌やご家族様とのかかわりを深め、大宮学区だけでなく、他の学区の催し物や、地域での関わりについて、お住まいの地域の情報収集に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	大宮学区で開催されている催し物(地藏盆・運動会・カフェ活動)などは参加できているが、他学区での催し物については情報収集、参加ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	3		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	8		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	7	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	4	5	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 昨年度に続き、大宮学区で開催される行事などについては、ある程度参加できた。また日々の介護の中で、生活スタイルや、人間関係、地域での生活について話をすることで、利用者様個人としても地域に生活しているという意識を持ってもらえるよう努めている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他学区での行事について、情報収集できておらず、参加できなかった。 日曜日のイベントが多く、出勤職員が少ないこともあり、積極的に参加することができなかった。 特に送迎に出ない職員について、家族とかかわることも少ないため、利用日以外の情報が不足している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 他学区での催し物について、情報収集し、参加していただく。 利用日以外での生活について、ケアマネや送迎職員が情報収集し、職員間で情報共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20 : 00～21 : 00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13 : 30～14 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	8 人	1 人	1 2 人

前回の改善計画	事業所のみで解決しようとしてしまう傾向にあり、利用者が住んでいるその地域の資源を知る必要がある。まずは情報収集をして、本人が必要としているニーズを満たす地域の資源をご利用いただくことで、利用者が生活の質を向上できるよう努めたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度や地域支援事業について、必要な制度については利用していただけるよう取り組んだ。生活の質を高めるプラスアルファの面では、取り組みが不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	7		1 2
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	9	1		1 2
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	8			1 2
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	1 0	1		1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
成年後見制度・地域支援事業・医療関係者と連携を取り、ご本人の生活改善のために対応できている。また近隣に在住する職員や、地域のボランティアの方に来ていただいたり、2 年目を迎え、地域になじんできているようにも感じる。 体調の変化に合わせて、「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせて、臨機応変に対応できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
生活改善や医療など、必要な資源以外はうまく活用できていないように感じる。 また、利用者様が多い現状もあり、臨時利用・随時対応に応じられない場面もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者が住んでいるその地域の資源の把握に努め、活用方法を模索する。 利用者様・ご家族様から直接伺ったり、行政からの情報等で情報収集する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20 : 00～21 : 00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13 : 30～14 : 00)

6. 連携・協働

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	2 人	5 人	3 人	12 人

前回の改善計画	管理者や常勤職員だけでなく、非常勤職員も積極的に地域と連携できるよう、外部研修に参加したり、利用者と一緒に地域のイベントに参加できるよう調整する。また、地藏盆や町内会の会議以外でも、地域の方が気軽に立ち寄れるようなイベントを開催することで、事業所を知っていただく機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者や常勤職員について、地域との会議や研修に出来る限り参加できるよう努めたが、非常勤職員に関しては、参加するに至らなかった。地域の方が立ち寄れる機会も徐々にではあるが増えてきつつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	1	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	2	7	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	2	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	2	5	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地藏盆や運動会など、利用者様と一緒に地域の行事に参加することができた。 町内会と協力し、廃品回収ができるようにするなど、地域に貢献できるよう取り組んでいる。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外部研修や地域の会議について、管理者や常勤職員しか参加できていない。 地域の方が事業所に立ち寄る機会が少ない。 地域の行事について、日曜日に開催されることが多く、職員不足から参加できなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 勤務形態を工夫し、日曜日のイベントにも複数の職員が参加できるようにする。 非常勤職員が外部研修に参加できるよう、案内・調整を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20 : 00～21 : 00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13 : 30～14 : 00)

7. 運営

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3 人	6 人	3 人	1 2 人

前回の改善計画	地蔵盆以外でも地域と協働した取り組みができるよう、地域の防災訓練に参加したり、イベントに参加したりと積極的に交流する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のイベントについては積極的に参加できた。ただし日曜日開催のイベントが多く、非常勤職員が参加することができなかった。防災訓練についても参加できなかったため、次年度は参加したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	6		1 2
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	6		1 2
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	4	1	1 2
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	4	4	1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様に対して、対面や連絡ノートでご意見や苦情を伺うことができる仕組みがある。ご意見があれば職員間で共有するようにしている。 事業所周辺の掃き掃除を通じて、地域の方と交流する機会がある。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事業所の窓口が管理者であり、苦情解決や交流なども管理者中心で行うことが多く、他の職員がかかわることが少ない。 地域との関わりについて、事業所に来ていただくための取組みが不十分である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域で防災計画を策定する取り組み行っておられ、事業所としても地域の拠点となれるよう連携、協同する。 防災訓練についても参加し、地域と連携するシュミレーションを行う。 地蔵盆以外で地域の方に事業所に来ていただくための取組みを企画する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20 : 00～21 : 00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13 : 30～14 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	4 人	2 人	1 2 人

前回の改善計画	日中は利用者様も多く、時間をかけた研修会ができず、夜間の調整になってしまっている。非常勤職員が多く、夜間の研修には参加できない職員も多い。研修に参加した職員が伝達研修をすることで、どの職員にも研修機会が持てるよう工夫する。また外部研修に多く参加することで、介護の質を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	常勤職員については外部研修を含めて、研修機会を持つことができた。非常勤職員に関しては、平日の日中に研修することや資料配布などで学習機会を持つことができた。非常勤職員の外部研修の参加について課題がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	2	2	1 2
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	4	1 2
③	地域連絡会に参加していますか		1	4	7	1 2
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	5	2	1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事業所内研修について、ほぼ毎月研修を行っており、参加できなかった場合でも、伝達研修や資料配布などで学習機会を得られている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外部研修に参加できていない。とくに非常勤職員について、勤務時間内に外部研修に参加することが難しくできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 引き続き、事業所内研修や外部研修で学習機会を得られるようにする。特に非常勤職員の外部研修について、人員を増やす、勤務を工夫するなど、参加できるような仕組みを作る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ①平成 28 年 11 月 28 日 (20 : 00～21 : 00)
②平成 28 年 12 月 1 日 (13 : 30～14 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー ①谷口・野原・青木・津村・益田・横山・小畑
②谷口・大木・横井・田中・桐村・野田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	1 人	人	12 人

前回の改善計画	プライバシーの保護について、重点目標とし事務室での申し送りの徹底と、介護の様々な場面において、各職員が利用者の立場で考え、最大限の配慮をすることとする。
前回の改善計画に対する取組み結果	事務室で申し送りを行ったり、各個人もプライバシーに配慮した行動ができるよう取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4			12
②	虐待は行われていない	10	2			12
③	プライバシーが守られている	3	8	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	7	1	1	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	9	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事務室で申し送りを行い、プライバシーに配慮した行動を意識している。 個人情報が書かれているものに関してはシュレッダーにかけて破棄できるようにしている。 身体拘束や虐待などが起こらないように、職員間で検討しながら関わっている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 申し送りが事務室内で行えていない日もある。 難聴の方とのコミュニケーションや、利用者様とのかかわりの中で、その方や周りの方の情報を話す場面があり、迷うことがある。 声かけの仕方によって、相手を行動制限してしまっている場面があるように思う。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 事務室での申し送りを徹底する。 プライバシーの境界線について、研修で共有する。 身体面はもちろん、精神面でも相手を制限しないように介護を行う。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 終野福祉会	代表者	杉本 豊平	法人・ 事業所 の特徴	終野福祉会グループは、京都市北区を中心に様々な事業（11分野23事業所）を運営しております。ガーデンハウス西賀茂は平成18年に開設し、平成27年3月に新事業所に移転しました。小規模多機能の特性を活かして、地域に密着した温かい事業所を目指しております。
事業所名	ガーデンハウス西賀茂	管理者	青木 雄一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎの様式や勤務を工夫し、情報共有を徹底する。 ・プライバシーの保護について、重点目標とし事務室での申し送りの徹底と、介護の様々な場面において、各職員が利用者の立場で考え、最大限の配慮をすることとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎやプライバシーの保護など、改善に向けて目標を持って取り組むことができた。しかし、情報収集について・社会資源の活用について・地位との連携などなど、不十分な点もあり改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けて前向きに取り組んでできていた点に関して、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の目標を達成できていなかった点も何点かあり、積極的に取り組み改善していく。 ①事業所周辺の地域のみでなく、大宮学区以外の利用者の方がお住まいの地域の情報を収集し、地域とのつながりを強められるよう、行事に参加するなど、積極的に取り組んでいく。 ②常勤職員のみならず、非常勤職員も外部研修等で学ぶ。 ③地蔵盆以外でも地域の方に事業所に来ていただく機会を増やす。 ④地域の防災訓練に参加する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> しつらえだけでなく、利用者が居心地がいい空間作りやご家族・地域の方が入りやすい雰囲気ができるよう、季節を感じられるような環境整備や、家族会の開催などを継続して行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中での取り組みやレクリエーションなどで、季節を感じられるような事業所作りを行った。家族会でご家族様に来ていただく機会を設けたが、ホールの活用など地域の方に気軽にきていただけるような取り組みを増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地の良い雰囲気作りについて、事業所の努力がわかり、工夫していると思う。 ・玄関は施錠（内側からはロックなしで出られるが、外からは入れない）されているが、安全面の配慮とも思えるし、どう答えてよいかわからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、利用者様が居心地がいい空間作りを作り、ご家族様や地域の方も参加していただけるような行事の開催や、庭を活かした取り組みやなどを継続して行っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域の方が事業所に立ち入る機会が、町内会の会合や地蔵盆など限られている。事業所での取り組みを知っていただくことや、地域の役に立つ事業所作りのため、イベント等で事業所に地域の方が入れるような機会を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に所属し、会合にも出席し、積極的に関わることで、今年度も地蔵盆で事業所を使用していただくことができた。地域の子様のクリスマス会でホールを使用してもらったこともあったが、その他の機会イベントなど関わるができなかつたので、次年度の課題としたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少し離れた地域だと、事業所のことを話しても知っている方がいない。 ・困りごとがあれば、気軽に相談することができている。 ・事業所が利用者様を大切に、地域との関わりも大切にされていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転して2年が経ち、町内会での取り組みなどから、近隣の方に事業所のことを知っていただくことはできているように思う。しかし、少し離れた地域の方には知られていないため、大宮学区以外の行事や研修会などにも積極的に参加し、広く事業所を知っていただく機会を増やす。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>今年度は葵祭、ふれあいまつり、大宮保育園・大宮小学校の夏祭り、地蔵盆、区民運動会、大宮保育園主催のマジックショーに参加するなど、事業所周辺の行事ごとについては、できるだけ参加できるように取り組んだ。次年度は防災訓練やその他大宮学区のイベントだけでなく、利用者本人が住んでいる地域の行事にも参加できるように、情報収集・計画をしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮学区で開催されるイベントに積極的に参加することができたように思う。しかし、他学区の取り組みについては情報収集でず、情報不足であり、参加することができなかつた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に「ひょっとして認知症では」と気になる方がいるが、家族と同居されており、どう関わればよいかかわからず、どこにどのように相談すればよいか、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわる機会が少ない。利用者と一緒に行事やイベントに参加していただくなど、かかわりを深められるような機会を増やす。 ・引き続き、利用者本人が住んでいる地域の行事にも参加できるように、情報収集・計画をしていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域の心配の方をテーマにした事例検討が行われていないため、積極的に情報収集を行い、そのような情報があった場合は、運営推進会議で取り上げて、事例検討を行うこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の心配の方をテーマにした事例検討について、運営推進会議で話題になる機会を設けたが、具体的な検討に至らなかつた。次年度の課題とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議では運営の様子が良くわかり、良いと思う。 ・地域の心配の方をテーマにした事例検討について、具体的な話になっていないので、工夫が必要。 ・最近は高齢ドライバーに関する問い合わせが多くなっている。事故が無い状況では、医師であっても、行政であっても、免許を強制的に取り上げることはできない。今後はますます増えていくと思われるので、そういったこともこの会議で情報共有できたらよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場で、地域の心配の方等の事例検討が具体的に出来るように、運営推進会議の場でご意見をいただいたり、町内の方とのかかわりの中で、事前に情報収集を行う。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>現在、法人内で防災計画を作成中である。京都市や地域の防災計画に沿った形で、運用していきたい。また、地域の防災訓練に参加することで、防災に対する意識をより高めて、いざという時に頼りになる事業所を目指したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の防災計画について、作成・修正中であり、地域の防災計画とすり合わせすることができなかった。 ・地域の防災訓練に参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画については、詳しく見えていないので、わからない。 ・事業所の防災訓練に参加したことが無い。 ・西賀茂周辺は水害が起こりえる地域であり、それに備える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災計画を確認させていただき、内容に基づき修正しながら事業所の防災計画を完成させる。 ・地域の防災訓練に参加する。 ・事業所の防災訓練に地域の方にご参加いただく機会を設ける。
----------------------------	---	--	--	---

